新有権者の感想文発表

ことしも二百八名の人が成人となられました。ほんとうにおめでとうございます。新しい社会の「おとなたちに」栄光が輝くよう心からお祝い申し上げます。

町と町の選挙管理委員会では、ことし希望に満ちた成人の日を迎えられる人たちから「新有権者感想文」を募集しておりましたが、十二人の新有権者からご応募いただきましたので、次にそれを発表いたします。明るく正しい選挙が行なわれるためには、有権者の正しい政治への関心と一票が責任ある正しい一票として行使されることがたいせつであるわけです。新有権者の純粋な心が大きな波紋となって広がることを願っています。

願いをこめて一票に全力を

上野（公務員）
松浦　笙子

二十歳！この言葉を耳にすると、からだ中が引き締まるような感じがします。きょうから一人前の人間として、すべてのことに責任と義務と勇気をもたなくてはならないのです。古代において成人というものは、自分の仕事と生命を守る判断力と知識があり、命がけの危険な試験を課せられ、これに見事にパスした人間を、一人前としたのだそうです。現代の私たちにはこのようなことはありませんが、それにあたるものに、成人式という全国民にお祝いされるりっぱなものがあるのです。

このとき、私がしなくてはならないことは、自分の責任ある仕事を誇りをもって、力いっぱいやることなのです。

この仕事をやり通すためには、いろいろの知識を得なくてはならないし、社会、政治の動きに無関心ではいられません。最近の政治の腐敗ぶりや、政治の貧困のしわ寄せからくる生活の貧しさを考えると、腹がたってきます。

テレビ「現代の映像」で、交通事故後身動きできない男の人が、焼き火ばしを使って「あんか」をつくろうとしている姿を放じていました。これを見ていて、やり場のない憤りと淑しさを、どうすることもできませんでした。

しかし、それをすぐに改善するというのは容易なことではありません。が、ここであきらめてしまっていては、社会は少しも前進しません。

私にできることは、毎日の生活を充実し、力いっぱい生き、たった一票ではあっても自分のすべての願いをこめた選挙権を行使すること以外にはないと思っています。そしてこのことを通じて社会の一員として、参加してゆこうと思うのです。これが成人となった私の役割なのです。

金のかからぬ明るい選挙を

善慶寺（農業）
加藤　高明

最近、私たちは毎日のように、政界の「黒い霧」ということばをマスコミを通じて、聞いたり、見たりしない日がなく、民主政治、また議会政治の危機とまで言われています。

このような議会を構成する人は、議員であってしかも議員を選ぶのは、主権者たる国民であります。こんな問題は国民には関係ないといって放って置くわけにはまいりません。なぜなら、このような議員を選んだのは主権者たるわれわれ国民であり、いまこそわれわれは、胸に手を当て反省する必要があると思います。

それは、選挙についてあまりにも責任感がなく、また理解が足りなかったためかもしれません。ただ選挙では金品での買収によって、良識ないしかし、今度の選挙でこそ国民が心新たにして、明るい政治への第一歩が踏み出されるよう、努力しなければ、いつになっても腐敗政治は取り除くことができないでしょう。

そのためにはまず、金のかからぬ選挙を実行しなくてはなりません。

社会には財産がなくても、すぐれた知識と行動力を持ったりっぱな人がおうぜいいると思います。しかし現在の選挙では多額の資金が必要なので、どうしても選挙に出馬することが許されない人もいることでしょう。

こんなとき、国民は今一度現行の選挙を考え直す必要があると思います。「金のかからぬ明るい選挙」、そして自分の意志に基づいて、正しい清き一票を投票する選挙を実現し、当選した議員は公私混同することなく、正しい知識と正しい行動力をじゅうぶん発揮して、社会の発展のために働いてもらいたいと思う。

私は、こんな選挙こそ、明るい豊かな社会を建設する礎になるのだと思います。

今度、私たちも成人として始めて選挙するにあたり、私たちのこのよごれていない清新な一票を、だれにも左右されず、自分の意志と良心にしたがい、社会のために働いてくれるすばらしい人に、投じたいと思っています。

一票を意義あるものに

小幡（信用金庫）
斉藤りう子

新しい生命が与えられ、二十年間を人にたよるだけで、何事も自分だけで処理しようとしなかった私が、こんにち「成人」のきびしい壁にぶつかって、おとなの仲間入りをしようとしています。

まだおとなとして、無価値の私たちは、これからの新しい経験をたいせつにしていかなければなりません。成人式を迎えれば、日常生活が一変するわけではありませんが、二十才になってはじめて、社会的におとなとして認められ「私たちの代表は、私たちの手で選ぶのだ」と思うと、あすへのファイトがわいてきます。

しかし、内面は不安と緊張の連続です。まだ芽の出たばかりの草花のような存在の私たちが、新有権者として与えられた「一票」を、みずから堂々とした態度で、明るく住みよい社会への近道とし、たいせつにしたいと思います。

私たちは、私たちの家庭をはじめ、地域社会、会社、学校、サークルなど、いろいろの社会の中で社会秩序を維持してゆくひとりの構成員ではないでしょうか。構成員である以上、自分に責任を持ってより明るく、よりしあわせな

はたちです　しつかり選ぼう初選挙

小島　功

平凡の中にもうるおいのある毎日でありたいと思います。

それには家庭を中心にしただんらんを持ち、老若男女、だれにも遠慮せず、なごやかなふんい気の中で、お互いの意見を語り合えるような、より多くの会合を持ちたいと思います。時にはレクリエーションを中心として、心と心の交換を広め、その中からお互い共通点を見つけ出し、真の人間として、美しくみがき上げられるのだと思います。このような毎日の中から、進歩ある、よりよい政治が生れることでしょう。

新春とともに、目前にせまっている選挙は、私たちのはじめての体験になります。今から不安ながら期待をして、この手で清い一票を意義あるものにしたいと思っています私たちはこれからの夢を大きくふくらませ、「明日への原動力は私たちの手で」と固い信念と誇りを持って、これからの人生を一歩一歩、努力してゆきたいと思います。

黒い霧よせつけぬよう

秋畑（学生）
田村　明美

私は毎日、食事をすませたあと、朝の新聞に目を通すのが楽しみです。まず、スポーツ全般に目を通してから次に交通事故等の三面記事ぐらいのところでした。最近成人式をひかえ政治面を少々見始めましたが当初は、興味もなく意味もわかりませんでした。しかし、たびたび見ているうちに、父や兄の話しを聞きながらいろいろ考えてみましたところ「あれはこうか」「これはこうか」とうすうすわかり始めてきました。最近新聞紙上にて「黒い霧」という記事をよく見受けますが、これがみな、選挙から始まる政治の腐敗とでもいうのでしょうか。私はつくづく考えさせられました。

今政府では「金のかからない選挙」ということをたまたま申していますが、この「黒い霧」というものも金のかかる選挙からくるものではないでしょうか。このときにあたり、私たちとしては、他人の甘言に耳を貸さず、自分自身で判断し、与えられた一票を有効に行使する覚悟です。身近な町内の選挙でもあのような多大な消費戦を目のあたりに見せつけられ、いまさらに一票のとうとさをしみじみ感じています。

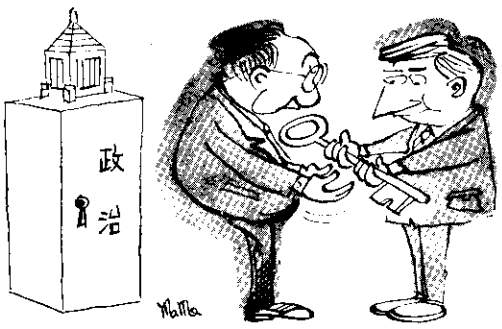
朝もやの晴れあがった甘楽町の山々は、いともすがすがしく、心から清らかさを感じさせます。この清らかな山や谷にどこからともなく押しよせるあの夕立雲のような黒い霧に包まれぬよう、今日から成人の仲間入りする私たちの一票で守りたいと思います。

そして視野を広く見渡すとき日本を象徴する、あの「富士山」にしても黒い霧をよせつけぬよう、これからの私たちに課せられた使命と思い、与えられた権利と義務を大事に守りたいと思います。

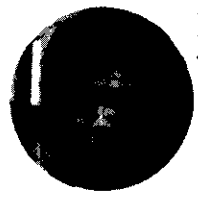
政治のカギ

私たちは一票によつて政治のカギを代表者に渡すのです。

森吉　正照



物事に責任ある態度を



秋畑（農協）
斉藤　暁子

二十才を迎え、新しく成人の仲間入りしました。

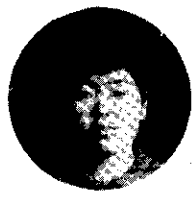
「成人」ついこの間まで遠い日のことと思っておりました。しかし、こんにちになって改めて一社会人であり、とうとい国家の主権者であることを忘れてはならないと思っています。

数年前、学校で学び得た知識を基にして、住みよい地域社会をつくるために、私たちの甘楽町をより発展させるために心がけて行きたいと考えています。一般に女性は、政治に対して無関心だと言われます。でも、これからの世の中は進んで正しい政治活動が行われるように努めることが要求されていると思うのです

又、日常生活していて、私たちの世代に夢も理想も考えないぼんやりとした時を送っているのが意外と多いのに気づくのです。ときどき、友人に「青春とは」とたづねるのですが、だれもはっきりした答えをくれません。その人によって考え方もちがってくるのは当然だと思うのですが、すばらしく有意義な日々でなくてはならないはずの青春時代、楽しさだけを追いかけるのではなく、スポーツ、読書裁縫等、どれか一つに自分の持っているエネルギーをじゅうぶんに発散させることができたらどんなにすばらしいことでしょうか。そうすればときどき口に出る“つまらない”という言葉もだんだんと消えてゆき、はっきりした理想目的もつかめてくることでしょう。成人した以上いつも責任を持って物事にあたりたいと思います。

現在の自分に欠けている人間に対して一番たいせつなものを早く見つけて、意義ある毎日を送りたいと思っています。そして仕事を持っている私でもあるので、職場ではいつも明るく、決して高望みすることなく、年令相応の豊かな人間性を身につけることをモットーにしています。最後に先輩のみなさん、よりのいっそうのお力添えをよろしくお願いします。

明るく正しい選挙を



福島（保母）
山口　幸子

私は九月十八日に行われた町長選挙に始めて選挙権が与えられ、始めて投票しました有権者となり、おとなの仲間入りができた喜びは、たとえようもありませんでした。

しかし、わたしの期待は裏切られてしまいました。それは、あれほどお祭さわぎをしなければ町長選挙ができないのかということです。選挙の告示がでないうちから多勢の人が動いていたようです。

なんのために、多勢の人たちが動くのでしょう。新聞で「黒い霧」の問題を見るにつけ、あのように多勢の人が動けば、お金もたくさんかかることだと思います。又、正しい選挙に対しての一般の認識がうすく、義理や人情におぼれたり、人の話や世論で投票したり、目先の利害で投票している人が多勢います。

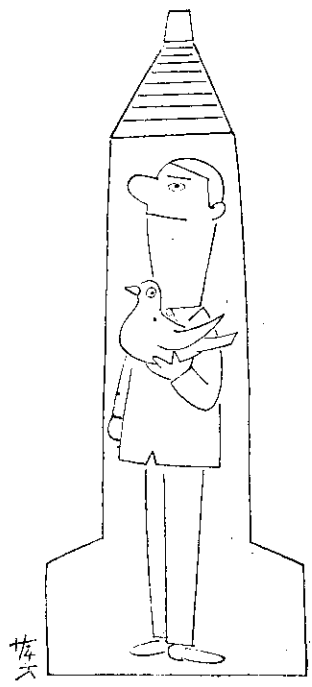
有権者みなが真に町民のため、国民のためになる政治を行なえる人を選ばなければ正しい政治は行なわれません。

たいせつな自分の一票をむだにしないよう、悔いのない投票を投じたいものです。

わたしは保育園で、毎日幼いこどもたちと一緒に遊んでいますが、こどもたちはほんとうに純真そのものです。

あの純真なこどもたちがやがておとなとなり、いまのような選挙を行なうようになるのでしょうか。

いいえ、そのときこそ、もっと明るく正しい選挙ができることと信じていますし、私たちはそのよう指導する責任があるはずですが……。

青年の純粋な気持を国会へ

吉田　幸夫